



12月8日(日)は『じんけんフェスタ 2024』です！

～毎年12月4日から10日は人権週間です～

1948(昭和23)年12月10日、国際連合総会で『世界人権宣言』が採択されました。

その後、日本では1949(昭和24)年に、毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日)が「人権週間」と定められたことを受け、全国各地で啓発活動が行われます。

本市においても12月8日(日)に四日市市文化会館第1ホールをメイン会場にして

『じんけんフェスタ 2024』を開催します。

“一人ひとりが人権を尊重する心”、“相手の気持ちを考える心”、“違いを認め合う心”を育てていただき、広く人権について考える機会にしていただければと思います。

(詳細はHP、広報よっかいち等をご覧ください。)

よっかいち じんけんフェスタ 2024



Webサイトもあるよ



関連図書

じんけんフェスタにて
ダンス&トークショーを開催！

「ぼくらしく、おどる ^{ぎそく}義足ダンサー ^{おおまえこういち}大前光市、^{ゆめ}夢への ^{ちようせん}挑戦」

(F-200 著者:大前光市 絵:今井ヨージ 学研プラス)

2016年リオパラリンピックの閉会式ほか、世界の舞台でも活躍しているダンサー、大前光市さんのノンフィクション。幼少期から今までの、人として、ダンサーとしての進化の軌跡をつづった1冊です。中学時代に「舞台上で活躍する人になりたい」という夢を見つけ、夢中で努力する日々を送ります。大学卒業後、ついにプロダンサーとして活動を始めた直後、交通事故に遭い、左足のひざ下を切断することに。ふたたびダンサーとして活躍する夢をあきらめず、さらに努力を続ける中で、苦悩や挫折を感じながらも、大前さんがたどりついた考え方、踊り方とは…？

「変化は、進化」ぼくの場合、足を切るという変化は、挑戦し、進化するきっかけになったのです。けっして、きょうではないぼくですが、だからこそ進化のため、今も、いろいろなことに挑戦しています。(本文エピローグより)



12月8日(日)13:30～
四日市市文化会館第1ホール
人権週間記念公演ダンス&トークショー
大前 光市 さん
「誰にでも輝ける場所がある」



人権センターでは、図書の貸出も行っております。
ぜひご利用ください。





新着 DVD (令和6年度)



分類	タイトル	種類	時間
3-70-1	あなたは大丈夫? 考えよう! 児童虐待	研修向き	33分
3-70-2	あなたは大丈夫? 考えよう! 児童虐待	研修向き	33分
3-71-1	あなたは大丈夫? 考えよう! いじめ 一人で悩まず相談しよう	研修向き	29分
3-71-2	あなたは大丈夫? 考えよう! いじめ 一人で悩まず相談しよう	研修向き	29分
3-72	うみとりくの からだのはなし	アニメ	16分
3-73	どう防ぐ? 児童虐待 体罰は必要なのか	研修向き	21分
7-319-1	あなたは大丈夫? 考えよう! デートDV	研修向き	30分
7-319-2	あなたは大丈夫? 考えよう! デートDV	研修向き	30分
7-320	小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう! 1巻 学ぼう! スマホのトラブルを防ぐマナーとルール	研修向き	24分
7-321	小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう! 2巻 考えよう! スマホを使った上手なコミュニケーション	研修向き	23分
7-322	レインボーストーリーズ LGBTsと医療 ①患者とのコミュニケーション	研修向き	21分
7-323	SOSが届いたら 相談にのれる心構え	研修向き	18分
1-122-2	きつねのかんちがい	アニメ	28分
7-313-2	あなたの笑顔がくれたもの 周りから見えにくい障害・生きづらさ	ドラマ	37分
7-256-2	秋桜の咲く日	ドラマ	34分



PICK UP



『うみとりくのからだのはなし』(16分)(3-72)

ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。りくはおかあさんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。大事なことだけれど、なかなか話しあうのが難しいからだの話を、かわいらしい双子といっしょに、やさしいシンプルなことばで考えます。(東映株式会社ホームページより)

みんながそれぞれの体を大切にするためにはどのようにしたらよいのか考えることのできるアニメーション教材です。相手の体を尊重する態度を身に着け、「生命(いのち)の安全教育」の教材として特に幼児期に最適です。

